

一般 会計

歳入
320億9474万円

歳出
309億2659万円

令和2年度の一般会計決算と特別会計決算（5議案）は、所管の常任委員会に付託され、審査されました。

委員会での審査結果は、いずれも「認定すべきもの」で、最終日の本会議での採決の結果、いずれも認定されました。

一 般

会 計

人 口 対 策

Q 対策とその成果は。

A 政策推進課長 鶴ヶ島版ネ

ウボラをはじめとした相談支援体制の充実などを進め、安心して子育てができる環境を整備している。また、鶴ヶ島グリーンパークの整備にぎわいと憩いの場の創出を目指す。ほかにも、株式会社関水金属と連携した新たな拠点整備も進め、居住の受け皿づくりを行い、若い世代の転入、定住を促進する。人口増加に関する成果は、正確に把握していない。



新型コロナウイルス感染症
対応地方創生臨時交付金

Q 交付金の使い方の検証、課題は。

A 政策推進課長 子育て支援臨時交付金の給付や事業者

に対する緊急融資事業、また感染症対策に必要な消耗品の購入等を行った。ほかにも、児童・生徒への学習用端末の整備、感染症対策を踏まえた災害備蓄品の整備や感染症に対応した公共施設のトイレ改修等を実施した。今後は、第6次総合計画のリストアットとして、コロナ後を見据えた地域コミュニティの維持に係る取組や地域経済の活性化の事業を進めていきたい。



学習用端末

住民異動等窓口業務委託事業

Q 窓口の外部委託による市民の反応は。また、職員数の削減状況は。

A 市民課長 混雑期の待合ロビーに案内係を配置したこ

と、転入転出などの際に必要な手続きを示す案内シートを渡すなどし、市民から好評を得た。また、3人の正規職員と5人の会計年度任用職員を削減した。

森林環境基金積立金

Q 積立金の活用は。

A 産業振興課長 昨年度は、生ごみ処理器キエーロの購

入補助、市民の森整備事業に充当した。今後は、高倉の屋敷林の保全や鶴ヶ島グリーンパークの管理や整備などへの活用を考えている。



生ごみ処理器キエーロ

都市農業活性化事業

Q 鶴ヶ島野菜のブランド化は。

A 産業振興課長 栽培技術講習会の開催や、鶴ヶ島産野

菜シールを作成して出荷時に貼付するなど、ブランド化や消費拡大に向けた事業を実施している。今後も引き続き、広く周知をしていく。

A 産業振興課長 新型コロナウイルス感染症の影響で売

上げが減っている市内の30社の中小企業者等に、2940万円の融資を行った。

新型コロナウイルス
ワクチン接種事業

Q 成果と今後の見通しは。

A 保健センター所長 昨年度は、コールセンターの設置

や接種券の印刷の準備をした。今年度から本格的に接種を開始し、接種券の発送、予約システムの導入、ワクチンを管理するために必要な冷蔵庫の配備、個別接種を実施する医療機関の選定及びワクチンの配送を行った。さらに、保健センターを会場とした、集団接種等を実施している。接種率は、令和3年9月5日時点で、3万7754人、58・94割である。2回目の接種を終えた人は、2万9018人、45・3割である。

